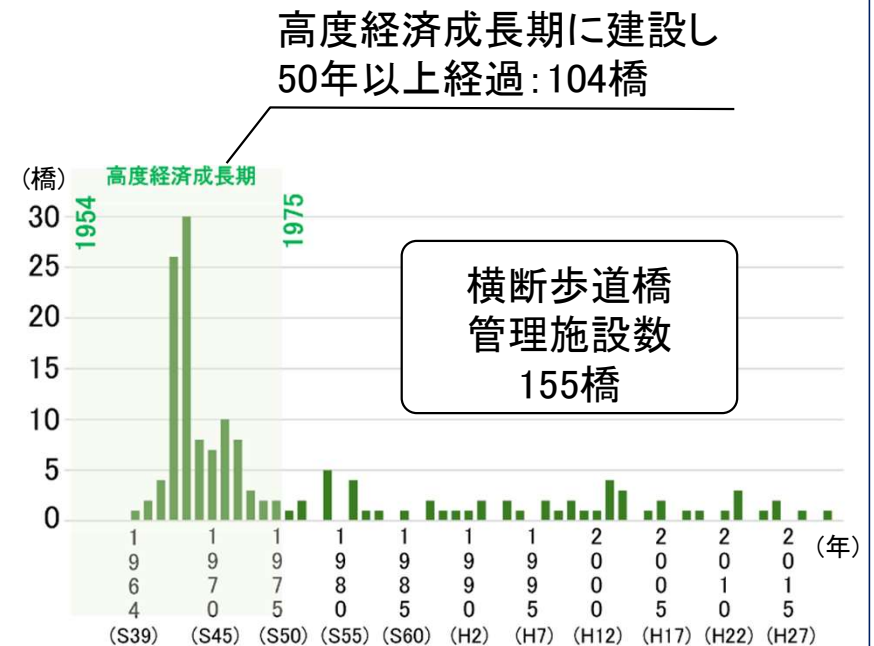


横断歩道橋の撤去に向けて

I 横断歩道橋の撤去に向けて

施設の状況

- 歩道橋管理施設数は155橋
- 管理施設の67%は高度経済成長期に建設



歩道橋を取り巻く課題

- 老朽化への対応
 - ・ 維持管理の増大
- 少子高齢社会への対応
 - ・ 小中学校の統廃合等による通学路廃止
 - ・ 高齢者等の利用に配慮
- 交通安全の確保
 - ・ 支柱や階段による歩道空間の狭隘化



老朽化（継続的な補修）



少子高齢化への対応



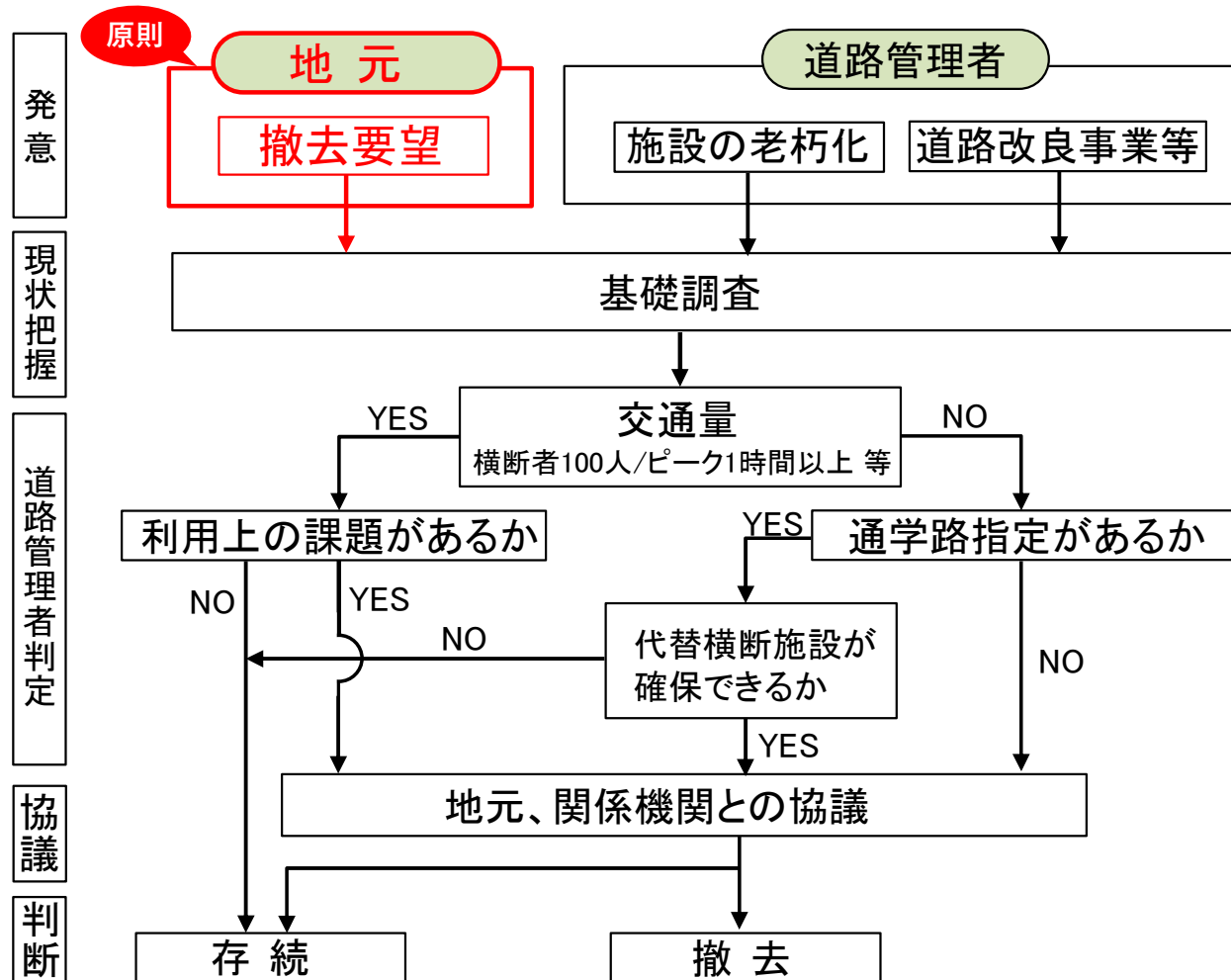
歩道幅員、視認性の阻害

I 横断歩道橋の撤去に向けて

現行の方針（現状も含む）

- 平成26年12月、横断歩道橋の撤去に関する手引きを策定（静岡県交通基盤部道路保全課）
- 原則として地元（自治会等）から撤去要望がある横断歩道橋を対象としているが、地元からの要望はない。

◎横断歩道橋の撤去・存続の判断フロー（横断歩道橋の撤去に関する手引き）



I 横断歩道橋の撤去に向けて

今後の取組（方向性）

上位計画

◎静岡県社会インフラ長寿命化行動方針（R6.3静岡県交通基盤部）抜粋

その他の優先順位の考え方として、施設毎の地域条件等を考慮し、ライフサイクルコスト（LCC）が縮減されるように考慮することとする。また、一部の施設においては、早期措置段階の施設が多く残っているが、これらが施設利用者等にとって機能上の問題がないケースも見られる。このような場合も含めて、各施設管理者が、施設の劣化状況や利用状況等を鑑み、周辺施設と併せて機能を維持できるように、補修、更新等の対策と、廃止、統合といった集約・再編の検討を、全体最適の考え方で進めることとする。

横断歩道橋の撤去に向けて

- 歩道橋の利用状況等を整理し、撤去候補を抽出
- 歩道橋周辺の安全対策（横断歩道設置、歩道空間改善等）と合わせて歩道橋撤去を検討
- 地元、関係機関との合意形成

歩道橋撤去候補のポイント

【目安の歩道橋数】

- 通学路指定が解除【（指定なし38橋）】
- 下部工により歩道幅員が確保できていない【橋脚が歩道上に設置64橋】
- 利用率が低い【12hあたり100人以下=18橋】
- 建設後50年が経過【104橋】
- 点検による健全性診断がⅢ判定(早期措置段階)以上【43橋(2巡目点検)】
- 付近に代替施設(横断歩道等)がある【18橋】

- ◎横断歩道橋の撤去に関する手引きの見直しを行う（横断歩道橋の撤去・存続の判断フロー見直し）
- ◎ストックマネジメントの最適化を図るため、横断歩道橋撤去に向けた調整を進める

道路パトロールにおける AIを活用した路面変状の把握について

1	背景	P 3
2	試験導入の概要	P 5
3	導入効果と課題	P 6

1. 背景

道路パトロールの概要

- 県管理道路（約2,800km）を対象に1路線につき月3回以上
- 運転手1名、職員2名の体制
- 走行中のパトロールカーから視認できる範囲で把握
- 路面変状（穴ぼこ、ひび割れ）や落石・枝葉等の落下物、道路施設の異常等を確認
- パトロール中に路面変状や落下物、草木の張出等があった場合に降車して可能な範囲で対応

路面変状



落下物



道路施設の異常

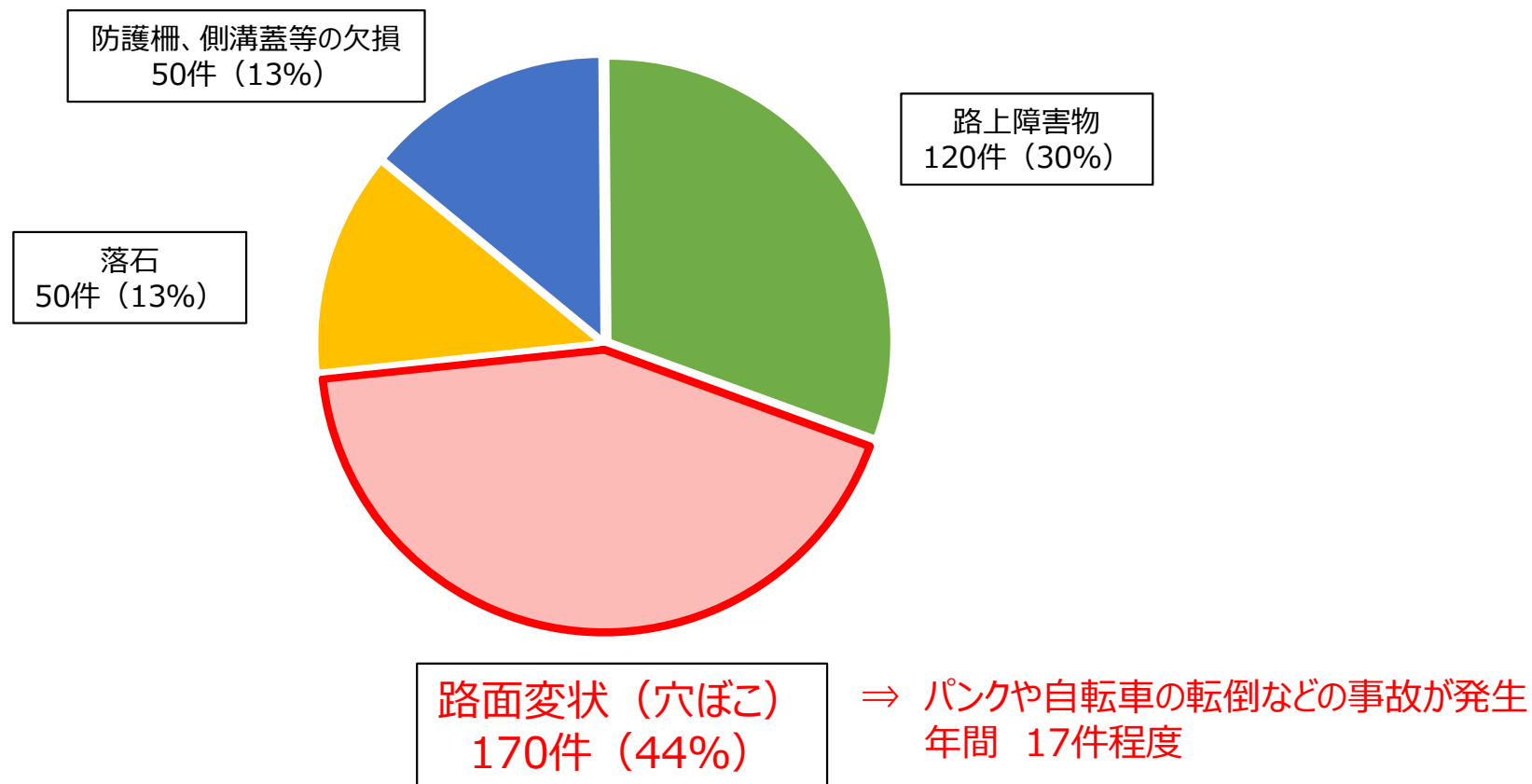


道路パトロールの様子

1. 背景

管理瑕疵

過去10年（H27～R6）の管理瑕疵の原因内訳



AIを導入することで管理瑕疵を減らせないか？

2. 試験導入の概要

ポットホール

パトロールカーにスマートフォンを取り付け走行しながら撮影を行う。
撮影した画像からAIの解析により路面変状等を検知することが可能。



3. 導入効果と課題

導入効果

軽微な路面変状を記録できる。

■ 道路パトロールにおける確認方法の棲み分け

路面変状の程度	AIの検知区分	方 法
要補修	区分3	職員の目視 (道路パトロール)
経過観察 (軽微な路面変状)	区分2、1	A I

目視できていなかった

【今後期待する効果】

- ✓ 路面変状の進行状況がわかるデータを蓄積
- ✓ 蓄積データもとに劣化予測
- ✓ 劣化予測をもとに軽微なうちに補修
- ✓ 軽微なうちに補修することで管理瑕疵の減少、コスト縮減



AIが検知した路面変状(穴ぼこ)

3. 導入効果と課題

課題

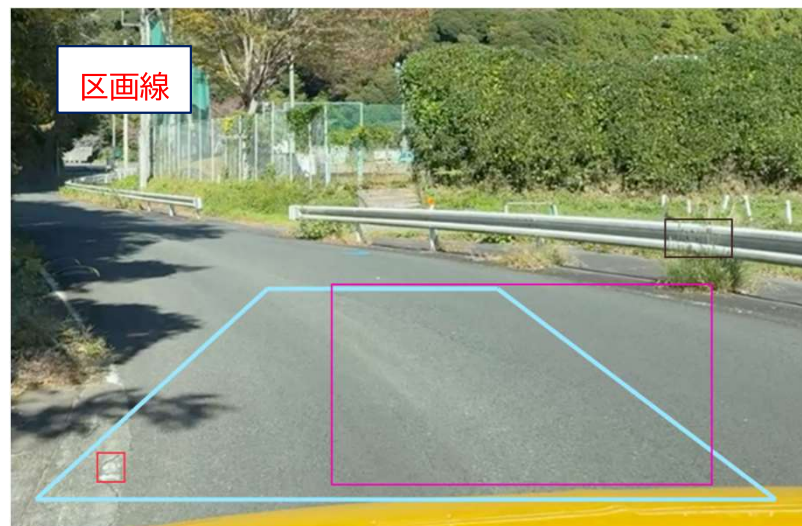
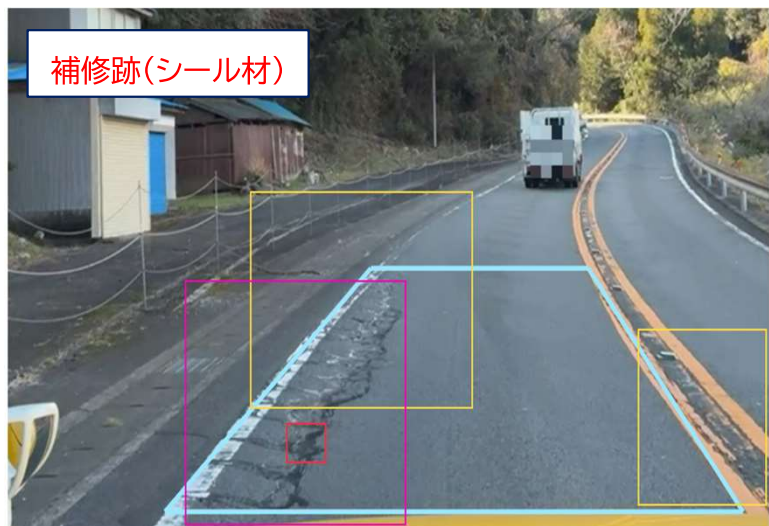
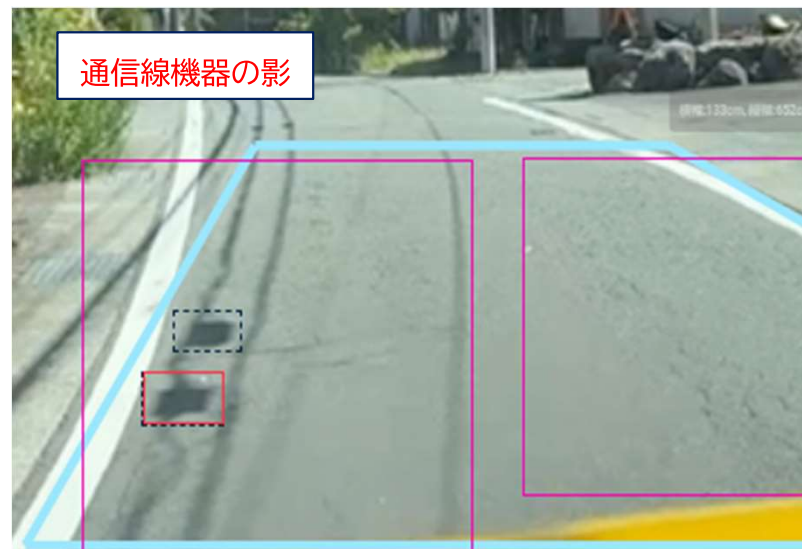
- 道路パトロール要員が発見した路面変状の一部が未検知



3. 導入効果と課題

課題

- 路面変状ではないものを損傷と誤検知



⇒開発者とともに検知精度の向上に向けた検討をしていく

国道150号 磐南Ⅱバイパス
清庵新田橋

資料 6

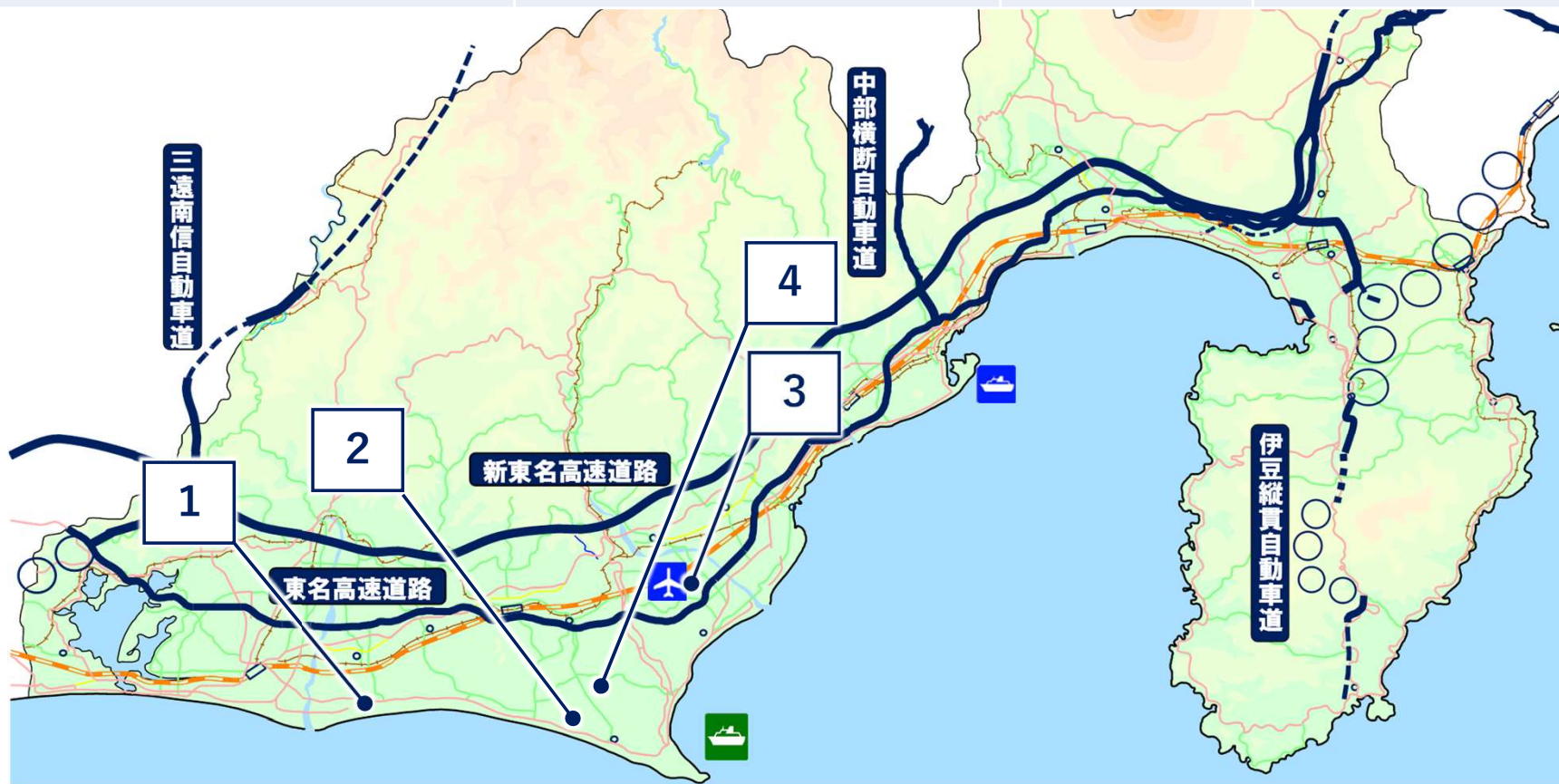
令和7年度の新たな道路供用について

清庵新田橋
現場見学会
2025年 6月26日

道路局 道路整備課

0. 令和7年度 道路供用箇所一覽

	路線名・工区名	開通箇所	開通延長	備考
1	国道150号 磐南IIバイパス	磐田市 塩新田～鮫島	1.3km	優先整備区間
2	国道150号 御前崎拡幅	御前崎市 合戸	0.3km	供用済み1.7km
3	県道吉田大東線 南原工区	島田市 船木	0.4km	島田市区間
4	県道掛川浜岡線 小笠バイパス	菊川市 高橋	1.2km	うち県区間0.5km うち市区間0.7km



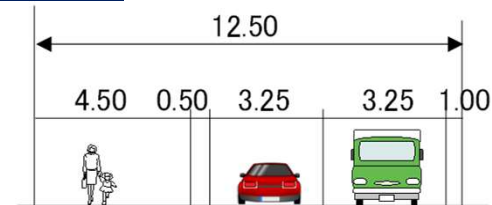
1. 国道150号 磐南Ⅱバイパス (磐田市)

- 磐南Ⅱバイパスは、ぼう僧川を渡河し、福田工業団地に接続する延長2.0kmのバイパス
- 当該道路の整備により、現道の交通渋滞の緩和や産業の振興などが期待される
- 令和8年3月下旬、西側の優先整備区間1.3kmが供用予定

事業概要

- ・ 事業期間：平成20年度～
- ・ 事業区間：磐田市塩新田～鮫島 延長2.0km
- ・ 道路幅員：全幅12.5m 暫定2車線＋片側歩道

標準横断図



位置図



ぼう僧川左岸側 整備状況



清庵新田橋 整備状況



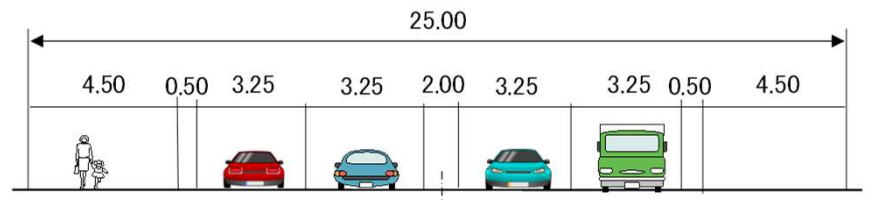
2. 国道150号 御前崎拡幅（御前崎市）

- 御前崎拡幅は、御前崎市内の国道150号を4車線化する延長2.0kmの道路拡幅
- 当該道路の整備により、御前崎港への物流の円滑化などが期待される
- 令和8年3月中旬、残る0.3kmが供用し、御前崎市内の4車線化が完了予定

事業概要

- ・ 事業期間：平成29年度～令和7年度
- ・ 事業区間：御前崎市塩原新田～合戸(掛川市境)
延長2.0km（うち1.7km供用済）
- ・ 道路幅員：全幅25.0m 4車線＋両側歩道

標準横断図



位置図



今回完成区間の整備前の状況



4車線化開通済み区間の状況



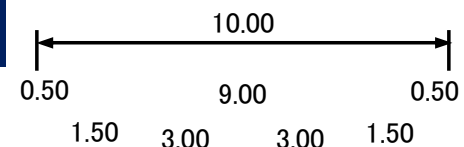
3. 県道吉田大東線 南原工区 (島田市)

- 南原工区は、富士山静岡空港アクセスルートの一部を構成する延長1.7kmのバイパス
- 当該道路の整備により、空港へのアクセス向上や周辺道路の安全性向上などが期待される
- 令和8年3月下旬、1.7kmのうち、島田市区間0.4kmが供用予定

事業概要

- ・ 事業期間：平成28年度～
- ・ 事業区間：島田市船木～牧之原市坂部
延長1.7km
- ・ 道路幅員：全幅10.0m 2車線

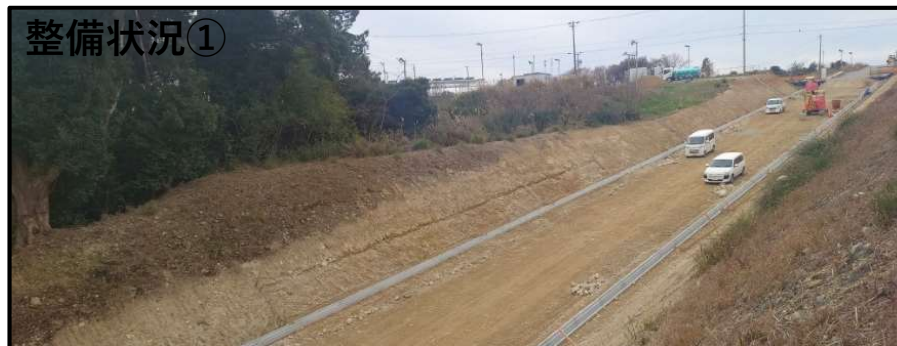
標準横断図



位置図



整備状況①



整備状況②



